令和3年度島原市当初予算概要ダイジェスト版

一般会計 当初予算額

230億6800万円

（前年度比△2.3%）

引き続き「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策に取り組むとともに、重要テーマである**アフターコロナの「街の魅力発信」と「暮らしの応援」**をさらに推進

	令和3年度	令和2年度	伸び率
一般会計 （A）	230億6,800万0千円	236億 200万0千円	△2.3%
特別会計 （B）	77億2,843万4千円	76億6,617万4千円	0.8%
合 計 （A+B）	307億9,643万4千円	312億6,817万4千円	△1.5%

●一般会計の特徴と総額の増減要因

○ 人口減少対策並びに地方創生を目指す**「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は 127事業 予算額 約25億9,200万円**

○ **「街の魅力発信」の推進** 既存の移住・定住促進事業等に、関係人口創出事業やサテライトオフィス等開設支援事業を追加

○ **「暮らしの応援」の推進** 保育・教育支援（病児保育・ICT推進事業）や市街地中心部道路（堀町縦線）、都市計画道路（親和町湊広場線、安徳新山線）の整備

事業別増減要因

【増加要因】 **ふるさと納税関係経費**（約3億100万円増）
産地生産基盤パワーアップ事業（約2億400万円増）
霊丘公民館大規模改修事業（約1億8,200万円増）
水産物供給基盤機能保全事業（約1億6,500万円増）

【減少要因】 **小中学校非構造部材耐震化事業**（約4億6,000万円皆減）
畜産クラスター構築事業（約4億4,000万円皆減）
船津地区高潮対策事業（約2億1,300万円減）
霊丘公園体育館弓道場周辺施設管理運営経費
（約1億3,400万円減）

● 歳入歳出予算の概要

※増減額が大きいもの

	主な費目等	予算額	前年度比較	増減の要因
歳入	市　債	約20億5,800万円	約6億3,200万円減	船津地区高潮対策事業や小中学校非構造部材耐震化事業の減額
	市　税	約43億1,000万円	約3億1,900万円減	市民税、固定資産税、都市計画税、入湯税が新型コロナウイルス感染症の影響により減額
	寄附金	約8億円	約3億円増	ふるさと納税が増額見込
歳出	投資的経費	約24億8,900万円	約10億400万円減	畜産クラスター構築事業、船津地区高潮対策事業、小中学校非構造部材耐震化事業の減額
	貸付金	3,500万円	約1億6,200万円減	地域総合整備資金貸付金の減額
	公債費	約20億5,000万円	約2億5,600万円増	新庁舎整備事業にかかる地方債元利償還金の増額

● 主な事業

◎　は新規事業

	移住･定住促進事業	1,000万円
◎	関係人口創出事業	300万円
	サテライトオフィス等開設支援事業	460万円
	ロケツーリズムによる島原魅力アップ事業	795万円
	島原城整備事業	8,700万円
	島原城周辺の無電柱化事業	3,400万円
	しまばら結婚サポート事業	930万円
◎	病児保育事業	1,404万円
	保育所等副食費助成事業	3,780万円
◎	子育て世代包括支援センター	457万円
	前浜クリーン館改修事業	8,800万円
	産地生産基盤パワーアップ事業	3億　800万円
	水産物供給基盤機能保全事業	1億6,500万円
	企業立地促進･雇用創出事業	2,036万円
	堀町縦線整備事業	2億8,683万円
	広馬場下公有水面埋立事業	9,101万円
	霊南山ノ神線整備事業	5,058万円
	親和町湊広場線整備事業	1億　963万円
	安徳新山線整備事業	1億8,827万円
	小中学校ICT推進事業	1,210万円
	霊丘公民館大規模改修事業	1億9,400万円
◎	雲仙･普賢岳噴火災害30年事業	540万円

街の魅力発信

暮らしの応援

その他

･雲仙･普賢岳噴火災害30年追悼事業
･島原市･南島原市合同避難訓練
･自主防災会組織強化事業
（自治体災害対策全国会議開催ほか）
･いのりの日集会　等